

## 平成28年度 事業報告

### 1、事業の概要

江別市シルバー人材センターを取り巻く経営環境は、北海道経済部発表の平成28年度の経済動向の概況では、平成28年4月に「一部に弱い動きもみられるものの、穏やかに持ち直している。」となっていたものが、平成29年3月においても、「穏やかに持ち直している。」と変わらぬままでした。雇用情勢は改善されているものの、個人消費、輸出入、生産、物価等は前年を下回るという状況で、市内の景況感は、先行きの不透明な動向となっています。

雇用情勢の改善は、過去最高の就職内定率を記録し、企業の人材確保が大変困難な状況となっています。このような人手不足を背景として、28年度の当センターの派遣就業は、前年度の「5,000万円」を大幅に上回る「7,160万円」の契約額となりました。一方、請負就業は、「適正就業の推進」により、前年度を「444万円」下回る「2億1,742万円」となりました。しかしながら、請負と派遣を合わせた総契約額では、前年度の「2億7,187万円」を6.3%上回る「2億8,903万円」とすることができました。このことは、当センターが中長期計画に基づき本年度取り組んだ「**会員数の増強**」「**適正就業の推進**」「**派遣事業の拡大**」「**経営基盤の強化**」等の成果といえるものがあります。

**事業目標の達成状況**については、会員数では前年度の「749人」から「801人」と「52人」増加したものの国から示された100万人ロードマップの北海道会員目標値である「890人」に到達することはできませんでした。また、請負受注金額も目標値の「2億3,312万円」には至りませんでした。一方、派遣就業延人日については、目標値の「8,501人日」を「4,711人日」上回る「1万3,212人日」を達成することができました。

以下、平成28年度の事業実施状況の詳細について、報告します。

## 2、事業実施状況

### (1) 会員数の増強

全国シルバー人材センター事業協会の会員100万人達成の目標値と北海道シルバー人材センター連合会の北海道会員目標を基に、平成28年度は890人を目標としましたが、801人に留まりました。

年 度	目標数	会 員 数
平成23年度	—	800人
平成24年度	—	758人
平成25年度	—	640人
平成26年度	—	670人
平成27年度	740人	749人
平成28年度	890人	801人

- ① センター情報を発信するため、公共施設等にポスターの掲示や街頭啓発を行い、センター事業の普及啓発と新会員の入会促進に努めました。
- ② 職域班や地域班活動を通じて、口コミによる入会を行いました。
- ③ 子育て、介護、家事援助サービスなど女性の就業ニーズに応えるため女性会員の入会を積極的に進めました。
- ④ 毎月センター及び元気プラザ'sで開催する入会説明会に加えて、江別、野幌、大麻地区等で14回の出前説明会を開催し、手続きを簡素化して入会を促進した結果、246名が出前説明会に参加し、64名の新会員が入会しました。

### (2) 適正就業の推進

受託事業については、その内容を精査し、請負契約が困難なものについては、法令を遵守し、シルバー派遣事業への切り替えを進めました。これにより、受託事業は減少しましたが、派遣事業は増加してきています。

## (受託事業)

平成 29 年 3 月末現在

区 分	受注件数	前年比	契約金額(円)	前年比(円)
公共事業	106	8	36,993,669	▲2,525,729
一般企業等	799	69	115,107,958	▲988,911
個人・家庭	5,589	55	62,200,346	▲286,617
独自事業	2	0	3,119,141	▲640,448
合 計	6,496	132	217,421,114	▲4,441,705

## (派遣事業)

平成 29 年 3 月末現在

区 分	受注件数	前年比	契約金額(円)	前年比(円)
公共事業	2	0	4,529,277	▲594,165
一般企業等	54	12	67,076,141	22,191,934
個人・家庭	0	0	0	0
合 計	56	12	71,605,418	21,597,769

## (事業契約実績)

平成 29 年 3 月末現在

年度別	28 年度	27 年度	26 年度	25 年度
受託事業	21,742 万円	22,187 万円	22,791 万円	22,607 万円
派遣事業	7,161 万円	5,000 万円	3,897 万円	3,433 万円
合 計	28,903 万円	27,187 万円	26,688 万円	26,040 万円

- ① 法令を遵守し、高齢者に適した就業を行うことは、公益社団法人にとって大変重要なことであり、社会的な責任をもってその役割を果たしました。
- ② 公共施設等の就業は、会員の交代又はローテーション就業により公平な就業機会の確保に努めました。
- ③ センター内に就業情報板を設置し、速やかに新たな就業先を会員へ紹介しました。

## (3) 派遣事業の拡大

企業の人手不足が進む中、適正就業を推進することにより、派遣事業の実績は増加しました。延就業人数は、平成 28 年度目標値の 8,501 人を 5,000 人日近く上回り、

契約金額も前年度より 2,160 万円増加の 7,160 万円となりました。

(派遣就業延人数実績)

年 度	派遣人数
平成 2 4 年度	4, 1 9 9 人日
平成 2 5 年度	6, 2 1 8 人日
平成 2 6 年度	7, 0 3 6 人日
平成 2 7 年度	1 0, 3 0 2 人日
平成 2 8 年度	1 3, 2 1 2 人日

(派遣事業実績)

年度別	28 年度	27 年度	26 年度	25 年度	24 年度
受注件数	56 件	44 件	21 件	16 件	16 件
契約金額	7,161 万円	5,000 万円	3,897 万円	3,433 万円	2,513 万円
就業延人員	13,212 人日	10,302 人日	7,036 人日	6,218 人日	4,199 人日

- ① 28 年度に引き続き、就業開拓員による市内民間企業や行政等への積極的な訪問によって、新たな就業先の確保に努めました。
- ② 地域の労働力不足を補うために、シルバー派遣事業をより一層拡大し、多様な就業機会を確保するための新規の就業開拓に努めました。
- ③ 「元気プラザ s」については、派遣事業の拠点としての活用を継続しました。

#### (4) 財政健全化に向けた経営基盤の強化・改善

国の補助金の削減により厳しい財政運営を続けてきましたが、平成 28 年度から始まった高齢者サポート事業補助金により安定的な運営資金が確保されました。

(補助金実績)

年度別	28 年度	27 年度	26 年度	25 年度
連合交付金	23,381 千円	16,780 千円	9,280 千円	9,900 千円
市補助金	23,381 千円	16,780 千円	10,080 千円	9,900 千円
合 計	46,762 千円	33,560 千円	19,360 千円	19,800 千円

- ① 就業の拡大により事務費を確保しました。
- ② 派遣事業の拡大により手数料を確保しました。
- ③ センター事業の趣旨に賛同する賛助会員を増やしました。
- ④ 最低賃金の上昇に対応する配分金の見直しを行いました。
- ⑤ 独自事業の「堆肥・腐葉土・エコ石鹸」作りは、採算性や作業工程の効率化に努めました。
- ⑥ 諸経費の節減を進めました。

## (5) 安全就業と事故防止

安全委員会では、安全就業の徹底に向け、以下の5項目の対策を行いました。平成28年度は9件の事故が発生しました。その内5件については、就業途上での事故であり、今後は、健康保持や交通事故も含めた安全への取り組みが必要となっています。

- ① 安全パトロールを強化し、安全意識の啓蒙と事故防止に努めました。
- ② 安全標語の募集、安全宣言大会参加者を拡大し、常に安全旗を掲揚するなど、安全と事故防止のための諸行事への参加を促しました。

**安全標語最優秀賞 「我が年を 自覚してこそ 事故なくす」**

- ③ 安全保護具の着用と機械器具の点検整備を強化し、事故防止に努めました。
- ④ 健康診断の受診を奨励し、保健師による健康事業を実施しました。
- ⑤ 「団体傷害保険・総合賠償責任保険」に継続加入しました。

## 平成28年度保険適用事故概況

(傷害事故 7件)

(前年度 7件)

性別	年齢	仕事の内容	事故の状況
男	73	自転車整理作業	就業途上に転倒し、大腿骨を骨折。
男	75	剪定作業	脚立から樹木に足をかけた際に転落し、肋骨骨折。
男	70	剪定作業	車を運転中、意識喪失により交通事故。
男	65	ちらし配布作業	配布中、階段から降りる際に膝をひねり負傷。
女	77	会場準備・清掃作業	就業途上、雪道で滑って転び腰を強打。
女	77	清掃作業	就業途上、雪道で滑って転び肘を強打。
女	76	会場準備・清掃作業	就業途上、雪道で滑って転び手首を骨折

(賠償事故 2件)

(前年度 2件)

性別	年齢	仕事の内容	事故の状況
男	70	機械草刈り作業	作業中、刃が建物に接触し、破損
男	76	機械草刈り作業	ブロック塀際を作業し、刃で塀を破損

### (6) 公益社団法人としての組織体制の強化

組織体制の強化のため、派遣事業の拡大に向けて臨時職員を採用したほか、会員による事務補助員も就業させました。

年度別	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
正職員数	4人	4人	4人	4人
臨時職員数	5人	4人	2人	1人
業務補助員数	2人	2人	4人	3人

- ① 公益社団法人として、健全な運営や透明性の確保、地域社会への貢献、法令順守など認定法に基づく事業運営を行いました。
- ② 地域組織活動の活性化に向けて、地域班組織を見直しました。
- ③ OA機器の整備により効率化に努め、事務局体制の強化を検討しました。

## (7) 技術・接遇等の向上

剪定や冬囲いなどの技能講習を行ったほか、新たに清掃講習会を行いました。

講習会名	日時	会場	参加人数
剪定講習会	7月8・11日	山岸宅	16人
福祉家事援助清掃講習会	9月12日	緑町老人憩いの家	12人
冬囲い講習会	10月5・6日	山岸宅	3人
刃物研ぎ講習会	12月8日	センター研修室	15人
公共施設管理接遇研修会	3月8日	センター会議室	18人
会員研修会(安全衛生)	3月12日	野幌公民館	62人
刃物研ぎ講習会	3月14日	センター研修室	10人

## (8) ボランティア活動の推進

超高齢化社会に向けてワンコインで地域の高齢者を支援する事業は、有償ボランティアとして継続し、江別市と連携する中、観光振興の一助として東野幌ノハナショウブ園の整備を行いました。

## (9) 広報活動の強化

- ① 会員の増強や受注の拡大ために、新聞広告やチラシ配布を継続するほか、市窓口封筒への広告掲載を行いました。
- ② 会員一人ひとりが会員増強や事業拡大を意識し、口コミによる広報活動に取り組みました。

## (10) 関係機関団体等との協力連携

江別市、北海道労働局、全国シルバー人材センター事業協会、北海道シルバー人材センター連合会、道内外のシルバー人材センター等と連携し、事業の円滑な運営に努めました。

## 事業報告の付属明細

### 1. 会員現況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

#### （1）年齢別構成

（単位：人）

年齢別	64 歳以下	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80 歳以上	計
男性	40	194	192	110	56	592
女性	27	66	58	43	15	209
計	67	260	250	153	71	801

会員平均年齢 男 71.9 歳 女 71.4 歳 全体 71.8

#### （2）地域別

（単位：人）

地域別	江 別	野 幌	大 麻	計
男性	243	214	135	592
女性	95	80	34	209
計	338	294	169	801

#### （3）会員入退会

（単位：人）

区 分	入 会			退 会			月 末 会 員 数		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
28.4	10	1	11	33	8	41	527	192	719
5	32	9	41	8	2	10	551	199	750
6	8	1	9	4	1	5	555	199	754
7	8	5	13	4	0	4	559	204	763
8	5	2	7	1	0	1	563	206	769
9	4	0	4	2	0	2	565	206	771
10	6	1	7	2	1	3	569	206	775
11	7	1	8	3	0	3	573	207	780
12	6	0	6	5	2	7	574	205	779
29.1	7	2	9	4	3	7	577	204	781
2	10	4	14	0	1	1	587	207	794
3	7	2	9	2	0	2	592	209	801
合 計	110	28	138	68	18	86			



## 2. 事業実績（平成29年3月31日現在）

### （1）センター事業及び派遣事業の月別受注状況

区 分	請負事業		派遣事業		合 計	
	受注件数	受注金額(円)	受注件数	受注金額(円)	受注件数	受注金額(円)
28. 4	690	13,041,434	24	4,301,345	714	17,342,779
5	602	16,467,721	8	5,052,640	610	21,520,361
6	818	21,823,364	2	5,816,612	820	27,639,976
7	803	25,727,154	3	5,277,670	806	31,004,824
8	652	21,270,501	8	5,458,173	660	26,728,674
9	609	21,500,556	2	5,444,774	611	26,945,330
10	646	21,854,529	1	5,333,146	647	27,187,675
11	675	17,702,580	2	4,769,653	677	22,472,233
12	310	9,771,137	4	4,755,522	314	14,526,659
29. 1	245	10,584,719	0	4,434,013	245	15,018,732
2	239	9,045,421	1	14,713,436	240	23,758,857
3	207	28,631,998	1	6,248,434	208	34,880,432
合 計	6,496	217,421,114	56	71,605,418	6,552	289,026,532

### （2）公共・民間別の受注状況

年 度		28年度		27年度	
区 分		受注件数	受注金額(円)	受注件数	受注金額(円)
公 共	請 負	106	36,993,669	98	39,519,398
	派 遣	2	4,529,277	2	5,123,442
企 業	請 負	799	115,107,958	730	116,096,869
	派 遣	54	67,076,141	42	44,884,207
一般家庭	請 負	5,589	62,200,346	5,534	62,486,963
独自事業	請 負	2	3,119,141	2	3,759,589
合 計		6,552	289,026,532	6,408	271,870,468